

## 「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	アジア・太平洋地域の共通課題に対する技術協力等の推進		
施策	②各分野における国際協力・貢献活動の推進			
(施策の小項目)	○JICA沖縄との連携			
主な取組	水道事業の技術交流・技術協力 (企業局)	実施計画 記載頁	357	
対応する 主な課題	○沖縄の地理的な特性とこれまで培った経験や知識及び様々な分野における研究成果を生かし、県民の理解と協力のもと、国際的なネットワークや、国際協力の知見を有する専門機関と連携・協力し、国際協力・貢献活動を推進していくことが求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	沖縄と地形的、気候的特徴が類似する太平洋島嶼国等に対し島嶼地域に適合した水道技術、ノウハウの技術移転等を目的として、JICA研修員受入事業を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体  JICA沖縄 県 市町村
	11人 受入人数				→	→	
	海外研修員受入事業(JICA事業)等の実施						
担当部課	企業局 総務企画課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
海外研修員 受入事業	2,916	2,514	○JICAの委託を受け太平洋島嶼国等を対象に地域別研修「大洋州 島嶼における水資源管理・水道事業運営」コースを実施し11名(フィジーなど9カ国)の研修員を受け入れた。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
海外研修員受入人数			11人	11人
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	○研修員は本研修で学んだ研修成果を自国の水道事業改善に活かすことを目的にアクションプランを作成し、島嶼地域に適合した水道技術、ノウハウの移転を行っている。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
海外研修員 受入事業	6,263	平成26年度に引き続き、JICAの委託を受け太平洋島嶼国等を対象に地域別研修「大洋州 島嶼における水資源管理・水道事業運営」コースを実施する予定であり、離島研修等を追加し内容を拡充する。	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・平成26年度において、太平洋地域において持続的な水道事業を図ることを目的に水道事業運営に係る講義を追加した。  
・課題別研修において離島地域における水源開発の理解を深めるため南大東島での地下水位測定や西表島での水源地踏査を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
-	-	-	-	-	-
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	平成22年度より大洋州諸国の研修員受入を行い、島嶼地域に適合した水道技術や水資源保全ノウハウの効果的移転を図っている。また、より効果的な研修になるよう年度毎に研修内容の見直しを行っている。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

水道事業の技術交流・技術協力を行うにあたり、以下の留意点への配慮が必要であるため、引き続き、これらを踏まえて、事業を推進する。

○内部要因  
・研修が研修員の出身地である太平洋島嶼国等の課題等の解決に資する研修であると評価されているが、より効果的な研修となるよう取り組む必要がある。

○外部環境  
・沖縄の地理的な特性とこれまで培った経験や知識及び様々な分野における研究成果を生かし、県民の理解と協力のもと、国際的なネットワークや国際協力の知見を有する専門機関と連携・協力し、国際協力・貢献活動を推進していくことが求められている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄と地形的、気候的特徴が類似する太平洋島嶼国等に対し島嶼地域に適合した水道技術、ノウハウの技術移転等を図る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・引き続きJICAの受入事業を推進するとともに、太平洋島嶼国に適した水道技術の提供や、より効果的な研修内容にするため研修内容の検討を行う。